

専有部立ち入り作業の「写真整理」でも高評価

「日程調整サービス」のネスぺ

付随業務も代行し現場効率化支援

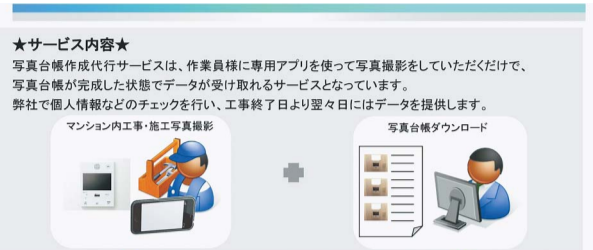
高齢化や労働人口の減少に伴う人材不足を背景に、労働環境の改善は待ったなしの状況だ。中でも建設業界は今年4月から時間外労働時間に罰則付きで上限が設けられるだけに、ここ数年、現場の作業効率化を目指したDX(デジタルトランスフォーメーション)化が進んでいる。インターネットや火災報知器、戸車交換など専有部立ち入り工事も然りだ。この分野のDX化で一步二歩も先んじているのがネスぺ(本社大阪、木村有一社長)。スマートフォン(スマホ)を利用した、施工時のマンション住民との日程調整サービスをはじめ写真整理など、現場の効率化を支援するためのサービスを一括して提供、好評を博している。

「電子看板アプリ」を使用するだけ

今や専有部立ち入り 確定資料の作成、配 同サービスに付随し 作業時に欠かせない存在、掲示等にかんがりの た各種の支援サービス 在となったネスぺの パワーを必要とした を提供しているが、中 「日程調整サービス」 が、この業務全てをネ ても人気を博している これまで施工業者はマ スペに丸投げ可能とな のが写真台帳の作成代 ンケートを作成、投り、現場の効率化は飛 行サービスだ。 函、回収、日程組み、 躍的に向上した。 機器交換の場合、最

写真台帳の整理作成まで一括で

電子看板アプリ 写真台帳作成代行サービス



業者様の工事終了、写真台帳受取までの流れ



の事前準備は全て同社が行うため、事前の入力作業は一切不要。メゾネットタイプの住戸や個別の機器取り付けがある場合など、撮影箇所の特長も要件にも対応可能となっている。同様のクラウドサービスもあるが、他社サービスとの最大の違いはネスぺの日程調整サービスに部屋番号と工事日程データを活用しているため、撮影箇所切手前登録の手間が一切不要な点だ。電子掲

低でも交換前、交換中、交換後の写真が必要となる。付属機器も交換となれば一戸あたり写真撮影が10枚を超えることも珍しくなっている。作業員は帰社後写真整理に忙殺され、残業あるいは休日出勤して写真台帳作成を余儀なくされることも。ネスぺのサービスは工事担当者が同社開発のスマホシステム「電子看板アプリ」を撮影時に使用するだけで、あとはネスぺが写真台帳を作成してくれるというものだ。部屋番号や撮影箇所の登録など、一部屋あたり12枚、共用部分で160枚、トータル1万5000枚超えの写真撮影。従来事前準備に2日、撮影後に2週間以上かかっていた写真台帳作成をネスぺの同サービスの利用でたった3日間済んだ。同社では工事終了後の各戸確認署名をスマホで受け取る「工事完了書アプリ」も提供しており、専有部立ち入り作業の効率性の向上に、大活躍だ。

↑ 詳しくは、記事をご覧ください。



っと出せます。

ネスぺでは、写真台帳を工事完了から2日でお渡し。専用アプリで施工写真を撮るだけ。撮影項目の設定などの事前準備も全てネスぺが行います。



お問い合わせ **0120-955-708**
 株式会社ネスぺ

大阪本社 550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1丁目4-6 肥後橋新興産ビル8階
 東京支店 150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目15-3 プリメーラ道玄坂422

ネスぺの取り組み
 インスタグラムで
 ご覧いただけます

